

SALC通信



S e l f - A c c e s s L e a r n i n g C e n t e r



英語が好きだけど自信がない、国際学生と話せるか不安と思っている方々…

大丈夫です。安心してください。
APUにはSALCという自主学習センターがあります。



齊藤 秀男 (APM2回生)

みなさん、こんにちは。APM2回生の齊藤秀男です。
ここでは、私が去年1年間どのようにSALCを活用したのかについて述べたいと思います。
私は高校時代、英語に対して苦手意識が強く、自分から英語を勉強することはありませんでした。その結果、去年のプレACEMENTテスト (TOEFL/ITP) では317点しか取れませんでした。入学早々、自分の実力を見せつけられ愕然としました。現実を知り、かなり落ち込みましたが、このままでは私のAPU生活が終わってしまうと思い、SALCで英語学習相談があることを聞いていたので、SALCに行き英語学習相談をすることにしました。
教室が開いたその日、さっそく学習アドバイザーの沖本さんに相談しました。沖本さんはどこが悪いのか、何が私に足りないのかなど細かく説明してくれました。そのおかげで、英語力を上げるために自分が何をすべきなのかが明確になってきました。

文法は中学1年生の教材から、リスニング、ポキャブラリーは『キクタンリーディング Basic 4000』(アルク、2007) を始めることを勧められました。それからは毎日SALCに1回は行き、キクタンを1ユニットして、文法に取り組みました。中学1年の教材から中学3年の教材を終るまでに約3ヶ月かかりました。

SALCで中学英語を学んだことで、プレACEMENTテストでは317点しか取れなかった私が、7月のTOEFLでは400点以上を取ることができたのです。このことは、自分のしてきた基礎の学習は無駄ではなかったという自信につながりました。さらに、英語の苦手意識もなくなり、楽しいと感じるようになりました。

また秋semesterには、リスニングとしてCNN Student Newsを見ました。今、世界で起こっている出来事が流れるので、興味を持って取り組むことができました。多読も暇さえあれば行いました。毎日のように沖本さんと学習相談をしながら、勉強を続けることができました。その結果、TOEICは605点、TOEFLは467点までになりました。

英語を学ぶにあたって、私が決めたことは、勉強が嫌な時も、絶対に勉強する場所 (SALC) に行くことでした。その環境に自分の身を置くことで、逃げ道をなくし、勉強をしました。私がこの1年間、英語学習に取り組んで最も大事であると感じたことは自分の現在の英語の力ほどのぐらいなのかということを知り、自分の力にあった学習をするということです。さらに、目標を立てて、それに向けて努力をすることです。私は入学時の英語の成績はどん底からでも2年後には交換留学に行けるということ、大学4年間でTOEIC900点以上を取れるということを証明したいと思います。そのために、これからも努力をし続けます。

みなさんも大学4年間で自分を変えることにチャレンジしてみたいかでしょうか？
もしそのチャレンジが英語に関してなのであれば、ぜひSALCを活用してください。

鎌野 菜実 (APS2回生)

WELCOME TO APU!!! 新入生の皆さん入学おめでとうございます。そして受験お疲れさまです。やっとAPUに入学できて嬉しくてわくわくしているのと、初めての環境に不安でいっぱいだと思います。私も一回生の時は毎日が不安で、うまくやっていたのか心配ばかりしていました。英語が好きだけど自信がない、国際学生と話せるか不安と思っている方々……大丈夫です^^安心してください。

そんな人たちのためにAPUにはSALCという自主学習センターがあります。私もSALC愛用者のひとりです。たぶん皆さんもすでにSALCについて説明を受けていると思います。SALCには洋書、文法書、CD、PC、とりあえずなんでも揃っています。新たに本を買う必要はありません。

そしてなかでも私がお勧めするのは、英語学習相談です!! 私は一回生の初めのテストでひどい点数を取ってしまいました。そのためクラスも入門からとなり、悔しさとショックでいっぱいでした。しかし、このままではダメだ!! と思い、SALCに助けを求めに行きました。そして、何ごとも基礎がないと発展しないという学習アドバイザーの沖本先生の指導のもと、中学生文法の復習から始めました。中学文法は一週間で終わらせ、高校文法を復習しました。そして、毎日英語のニュースをパソコンで聞いていました。そのため、SALCにはほぼ毎日通っていました。私にとってSALCは家のようなものです。

何でも相談に乗ってくれる母のような沖本先生、宿題やスピーキングのお手伝いをしてくれる姉や兄のようなTAさんのおかげでSALCがAPUの中で一番好きな場所になりました。

英語学習の上で最も大切なことは、楽しむことと継続させることだと思います。何事も楽しくなければ、続けたいと思いません。楽しんで勉強することが今年の私のモットーです。今はTOEFLの点を伸ばすために文法問題を解いたり、語彙を暗記したりしています。皆さんもたくさん勉強して自分に一番あった勉強法をみつけてください。

ちなみにいまカナダのトロントに短期留学しています。初めての留学ですが、毎日いろいろな発見がありとても楽しいです。まだ自分の思うようにすらすら英語を話すことは出来ませんが、会話することを楽しんで頑張りたいと思います!!
DO YOUR BEST!!!



SALC活用 体験談

中島 佑典 (2011年3月APS卒業)



こんにちは。APSの中島佑典と申します。今日は僕がSALCに通うようになったきっかけ、毎日何をしていたか、SALCの好きな点などを述べたいと思います。

まず、きっかけです。きっかけは、友達が「静かに勉強できる部屋があるよ。」と紹介してくれたからです。その当時のSALCは、勉強に来る学生もいなかったため、常に5人以下の環境で勉強していました。

次に、毎日何を、なぜ勉強していたのか。僕が受験する試験にTOEICが必須だったので、とにかく試験対策をということで毎日TOEICの勉強をしていました。しかし、今まで英語の勉強してきたことがなかったので、何をどう勉強していいのかわかりませんでした。「APUの学生は英語が話せて当たり前!けれど、僕は…」みたいな人こそチャンスです。SALCには英語のスペシャリスト、(学習アドバイザー) 沖本さんがいらっしゃるの。そんな何をしたらいいのかわからなかった僕にもしっかりアドバイスをしてくれました。しかし、テストのための勉強だったため、テスト後に、SALCで勉強という習慣は消えました。

そして、4年生になって就職活動後、やっぱり英語を喋れずに人生が終わるのは絶対に嫌だ!と思い、また門を叩きました。その時SALCに行ってみるとびっくりしました。スピーキング練習やライティング添削、本の貸し出しなど、今までのただの筆記での自習室から、様々な角度から英語が勉強出来るグレードアップした部屋に生まれ変わっていました。その日から毎日スピーキングの練習、本を週に一冊と目標を決めて取り組みました。

「英語を話せるようになりたい、けれど、キャンパスで国際学生に話しかける勇気がない。」という人、SALCでスピーキング練習の予約をしましょう。多くのTAと友達になり、キャンパス内で話す機会が増えます。海外に留学に行く前に、まずはSALC留学を。

そして、何よりも絶対に英語を身につける、という強い意志を内ポケットに忍び込ませて、SALCに行くことが大事だと思います。そうすれば、その石を隠しているつもりでも、ダイヤモンドのような光を解き放つその石に、沖本さんを始め、TAさんも気付いて支えてくれるようになり、その支えに応えたいという気持ちになり、絶対喋れるようになります。ただ、喋れる自分になるまでに多くの月日がかかると思います。けれど、なりたい自分になるまでは諦めない自分で居続けましょう。僕もその自分で今から社会人になります。そして2年後、SALCに帰り、沖本さんとENGLISHで会話をします。



藤澤 麻衣 (APM4年生)

みなさん、こんにちは!アジア太平洋マネジメント学部4年生の藤澤麻衣と申します。この記事を読まれているということは、きっと英語学習のモチベーションが高い方ですよね?そんなあなたの力に少しでもなれば幸いです。

まず、私がみなさんに一番伝えたいことは、英語は”やればできる!”ということです。立命館アジア太平洋大学にはたくさんの国際学生がいて、みんな英語はネイティブ並みに話せます。すごいすよね。でも、その国際学生の中には、英語が公用語でない国から来ている学生もたくさんいます。例えば、私がAPハウスに住んでいたときのシェアメイト、ベトナム人のヨーコさんは英語ペラペラですが、高校のときはすごく勉強したって言っていました。海外に留学することもなく、YouTubeを見たり、Podcastを聴いてこつこつ勉強していたそうですし、そのような国際学生はたくさんいます。ということは、私たち日本人だって、やればできるはず!私もSALCに通ってこつこつがんばってみたいところ、一回生の頃375点しかなかったTOEICを885点にまで上げることができました。私自身まだまだ勉強の必要があるので参考になるかわかりませんが、私がSALCに通うようになったきっかけや、私がやってきた英語学習法、SALCの活用法について書かせていただきたいと思います。

SALCに行くようになったきっかけ

～進歩のない自分に気づいたとき～

私がSALCに通うようになったきっかけは、1年生の秋頃、一緒に入学した国際学生たちの日本語はどんどん上手くなっているのに、自分の英語が全く進歩していないのに気がついたことです。そんな自分になんとなく劣等感を感じて、勉強するようになりました。

SALCの活用法 ～多読すべし!～

活用法は人それぞれかと思いますが、私はSALCへは主に多読をしに来ていました。英語の本を読むのは、家だとなかなか集中できなかったからです。多読はすればするほどスコアが上がります。1ヶ月ぐらい続けるだけで、驚くほどスコアが伸びるので試してみてください。しかも多読用の本は、薄いわりに、書店ではなかなか見かけない上に、買おうとすると結構高いので、たくさんの種類が揃っているSALCは絶対活用すべきだと思います。

また、私はSALCに来て英語仲間やアドバイスしてくれる(学習アドバイザー) 沖本さん、TAさんに会うことで、英語学習へのモチベーションを上げていました。スコアが上がったときに一緒に喜んでくれる人がいると、より一層がんばろうと思えますよね。そういう意味でもSALCは英語学習に有効な場所だと思います。

継続は力なり ～Endurance Makes You Stronger～

ちりも積もれば山となる、と言いますが、言語を勉強する際に最も大事なものは、地道な努力の積み重ねかと思っています。私は要領のいい人間ではなかったので、毎日勉強するしかありませんでした。どんなに気分が乗らない日でも、少しは英語に触れるようにしていました。そうすることで、プラスになることはあっても、マイナスになることはないからです。でも、全くやらなければ、その分マイナスになってしまいます。どうしても英語を見たくない日でも、洋楽を聴くなど、5分でもいいので触れるようにした方がいいかと思っています。

私は現在、実家の京都にて就職活動中ですが、日経新聞で

はなく、英字新聞のNikkei Weeklyを読むなどして、一日30分は英語に触れるようにしています。目標は卒業までにTOEIC満点を取ることです。学生生活、何かとあって忙しいですが、共にがんばりましょう!!!

挾間 大輔 (APS3年生)



現在、私は入学時期と比べTOEFLの点数を100点近く上げることができました。その結果、三回生の秋から留学に行けることがほぼ確定しました。しかし、TOEFLの点数が順調にUPしていったわけではありませんでした。むしろ、交換留学を目指す人の中では一番意識面でも点数面でも遅れていたと思います。そんな私の経験から「なぜSALCに通うようになったか」、そして「SALCをどのように活用していったか」最後に「新入生へのメッセージ」を書いていこうと思います。

一回生の時、私は、ただ漠然と交換留学に行きたいという思いがありました。しかし、その思いは浅はかなものであり、「交換留学に行けたらカッコイイ」といった曖昧なモチベーションでしかなく、交換留学で重要な「交換留学先で何を学びたいか」という具体的な目標を持っていませんでした。その結果、曖昧な目標だけでは「モチベーション」が続かず、一年時は英語の勉強に力を注ぐことができていませんでした。そんな中、私は二回生になり、目標を見つけることができました。目標を見つけたことにより、今の私がしなければいけないことが明確になり、本格的に英語の勉強に取り組み始めました。同時に、二回生の私には交換留学の申請の締め切りまで時間がなかった為、一日の生活リズムを英語漬けにする必要がありました。そこで、始めたことが言語自主学习センターであるSALCに毎日通うことでした。

SALCには、豊富な英語の教材がそろっており、常にTAや先生がいることでわからない問題を質問できる環境がそろっています。これは、真剣に英語を勉強したい人にとっては素晴らしい環境だと思います。私は、授業の合間にはいつもSALCに行くように心がけていました。文法の問題をひたすら解いたり、パソコンでリスニングをしたり、多読本を読んだりしていました。文法などでわからない問題があっても、先生に聞くと、親切にととてもわかりやすく教えてくれました。英語の解答(特に文法)には、自分が理解している解答とは違ったということが多くあります。SALCのようにいつでも質問できる環境は、一人で勉強するよりはるかに効率が良く、自分自身の理解も高めることができました。多読本も借りることができているので、毎日読むようにしていました。また、自分の勉強方法に息詰まった時にもSALCにいる先生に相談することで、新たな勉強方法を提供してくれたり、TOEFLの点数が上がらない時でも親身に相談に乗ってくれたりするので精神的な面でも物凄くサポートしてもらえました。私にとってSALCは勉強面でも精神面でもとても助けられた場所でした。一生懸命頑張る人には、最強なサポート体制があります。大学生活において、SALCは利用しなければ損だと思います。

私は二年間を通して、APUという環境にいるから英語が伸びるのではなく、英語を伸ばす為には、自分がやらないと結果は出ないということに気づきました。入学した時には、APUにいれば英語は勝手に話せるようになるし、理解できるようになると思っていたのですが、それはただの思い過ごしでした。しか

Interview with Fighting Spirit Award Winner, Zhu Yuanzhe By Lindsay Mack

APM 4th year student Zhu Yuanzhe, nicknamed Irvin, was chosen from hundreds of students to be awarded the Fighting Spirit Prize in the fourth Hong Kong Cup All Japan University Students English Speech Contest held in Tokyo on December 4th, 2010. With this prize he also won free round trip tickets to Hong Kong and the chance to take part in a study program at the Chinese University of Hong Kong. The following is an interview with Zhu about his wonderful experience.

Interviewer: Please tell me about the speech competition you entered.

Zhu: I actually saw the poster at APU, and when I was studying in the SALC. The poster looked interesting and I thought it was a pretty good idea to join the competition.

Interviewer: What was the speech about?

Zhu: You could choose out of 4 topics. I chose "Cosmopolitan Hong Kong."

Interviewer: Were the other participants from Japan?

Zhu: Actually among the 15 finalists, I was the only non-Japanese.

Interviewer: Overall how was the whole experience?

Zhu: It was enlightening and it was very exciting. I met many excellent people. Although the competition does not get much promotion at APU, it seems that it was quite famous and popular among the universities around the Tokyo metropolitan area. Some of my competitors were really excellent. It was so interesting to talk to them.

Interviewer: They flew you to Tokyo for the finals to give your speech. What was the room like where you gave the speech?

Zhu: It was a pretty crowded place; the room was not too big. I reckon that maybe about 100 people were sitting in the audience.

Interviewer: So how did your speech go?

Zhu: Yeah, it was alright. I was really nervous. The night before I slept in a hotel room provided by the organizers, and I was so nervous that I could not sleep. But my speech turned out okay. No matter what, I kept smiling.

Interviewer: Did you make any mistakes?

Zhu: Nope, not really.

Interviewer: Were you happy to get the Fighting Spirit Award?

Zhu: Yeah of course! The reward was pretty generous, with a free trip to Hong Kong including hotel.

Interviewer: How did you practice your speech?

Zhu: At the preliminary stage, I just read it and recorded my voice. I sent this audio recording to the competition's organizers. Then they selected me as one of the 15 finalists. That was when I really started to prepare by memorizing the speech. I continued practicing over and over again in front of different people.

Interviewer: Do you think practice makes perfect?

Zhu: Yeah I do, at least in my case.

Interviewer: What was the biggest challenge that you had to overcome to win this award?

Zhu: I think it is myself. I was trying to calm myself down. I couldn't even hold myself straight, shivering sometimes. I read some books about public speaking and one technique is to imagine that all your energy is streaming down from your body to your legs and down to the earth. That helped keep me calm.

Interviewer: Do you have any advice for students who want to join a speech competition?

Zhu: I think that there are quite a few chances to join speech competitions. I think that APU has a good environment to motivate students and APU provides a lot of opportunities for students to participate in similar competitions. Everyone should utilize these chances because they are great opportunities.

Interviewer: Do you have any advice for students studying English on how to learn English?

Zhu: I don't know if my method works for everyone, but I really like reading. I basically read as many books as possible in English. I think that if you can read some beautifully written books, it helps you clarify your thoughts as well as improve your English gradually.

Interviewer: Any other way?

Zhu: To be honest, I think for those people who really want to improve their language, there is a way but it isn't easy. You need to sit down and spend your time on memorizing the language, like a machine. That is the quickest way and a guaranteed way to acquire a good vocabulary.

Interviewer: So how many hours a day did you study?

Zhu: I studied at least 4-5 hours a day, memorizing vocabulary for a month. Before that my vocabulary wasn't bad but there were some words I didn't know. But after studying, I can read almost any text without much difficulty.

Interviewer: That's really tenacious; do you know what that means?

Zhu: Of course, it means just stick to it.

Interviewer: You do have a good vocabulary!

し、逆にやれば伸びるのが英語だと思っています。APUに来たからには英語ができるようにならないといけないし、英語を伸ばす為には自分がどれだけ頑張れるかにかかってきます。本当に英語を伸ばしたいなら、中途半端ではいけません。自信を持ってやったと言えるぐらい取り組みなければ結果はできません。APUには沢山の誘惑があるのも確かです。しかし、自分で優先順位を決めてやるのが重要になってきます。自分を信じて最後まで諦めずに続ければ結果は必ず出ます。入学時に英語がとても苦手だった私ですら留学までたどり着けたので、みなさんも諦めずに真剣に取り組めば結果は必ず付いてきます。重要なのは、「本気で取り組んでいるか」そして、「どんなことがあっても最後まで諦めずに取り組めるか」だと思います。新入生も、一緒に「真剣」に勉強に取り組める「仲間」を探して意識を持って英語の勉強に取り組んで下さい!諦めずに、一生懸命頑張れば、絶対に結果はついてきます。そして、その頑張りを誰かが見つけてくれます。自分が本当に困った時にはいろいろな形で助けてくれます。今しかできないこと、それをやりきることが大学生活でも重要になってくると思います。私にとってそれは英語の勉強でした。そして、やっとスタートラインに立てました。一年目は「挑戦の年」、二年目は「努力の年」、そしてこれからは「成長の年!」「努力に勝る天才はなし」という言葉を心に止めてこれから夢に向かって進んで行こうと思っています。

英語TA紹介

Introduction of English TAs

Binh

Hello everyone! I'm Binh from Vietnam. I love sleeping, reading, and taking photos. I'm currently in my 3rd year at APU, and this is my 2nd semester working at the SALC. Please feel free to come by anytime to have fun studying English with us. I hope to see both familiar faces and new faces at the SALC.

Eck

Hello, my name is Eck. I am a 4th year APM student. This is my second semester as a SALC English TA. Last semester I enjoyed talking with SALC students and reading their papers a lot. Let's have fun together and enjoy English at the SALC.

Jan

Hi, I'm Jan from Vietnam. I'm so excited to be a SALC TA for the first time. Please come to the SALC so we can speak English and learn together. I will always support your English study!!!

Jay

Hi everyone, I'm Jay from Thailand. I am a 3rd year student and I have been working as a SALC TA for one semester. If any of you are interested in learning English, you're always welcome to this room. Let's enjoy learning English!

On

Hello! My name is On. I am a third year student from Thailand and this is my second semester being a SALC TA. I enjoyed being here a lot and I am looking forward to seeing everyone in the SALC this semester. Therefore, I am always here and willing to help anybody who has a problem with English! Please do not hesitate to ask me questions. Let's improve your English together.

Sue

Hello everyone. I am Sue from Vietnam. This is my first semester to work as an English TA in the SALC, so I am a little bit nervous but I am very excited. I really want to make friends with other students and I hope I will have a great semester in the SALC. I am a Tohoshinki otaku and I love Emily and Jane Bronte's books. If anyone shares the same interests as me please come to the SALC so we can talk together. Let's meet in the SALC .

English Writing and Speaking Help for All Students Taking English Classes

英語ライティングサポート&スピーキング練習
(英語クラス履修中の学生対象)

By Lindsay Mack (マック先生)

Welcome to APU! At APU English classes are an important part of your first year experience. Are you ready to study English? Are you nervous to speak and write in English or worried that you won't be able to understand your English teacher?

Don't worry, the SALC is the perfect place to go and get extra help with your English writing and speaking. Did you know that there are trained English TAs who can help you write your essay, help you with English grammar, and help you achieve success in English? Besides writing help there is also "Talk Time" with trained TAs ready to practice speaking English with you and help you with your English presentations and other speaking assessments. If you have never booked a time with a TA, now is the time to do it. Let's learn more about what the SALC has to offer.

SALCでは英語ティーチングアシスタント(TA)によるサポートが受けられます。レポートの書き方や文法の質問をすることも、日常会話やプレゼンテーションの練習をすることもできます。是非SALCに来て予約を入れてください。

Talk Time

(英語スピーキング練習、1人週1回20分の予約制)

Talk time is a 20 minute session you can book with an English TA to practice speaking. Here, TAs can help you practice daily English conversation. TAs can also help you with your English presentations and debates.

Writing Help

(英語クラスの課題レポート専用 マンツーマン・ライティングサポート、1人週1回30分の予約制)

Writing is a big part of all English classes and the TAs are trained to help all students. The writing help at the SALC is a resource open to all English students seeking to improve their essay writing skills. Students receive one-to-one counseling from fellow students in 30 minute sessions. Reservations are made one week in advance by coming to the SALC and signing up.

English TAs

Binh



Jan



Eck



On



Sue



Jay



Using Newspapers at Various Language Levels

By Todd Beuckens

Reading newspapers is a great way to learn a new language. Newspapers are useful because there are many topics so students can easily find articles that interest them. Also, news stories are usually not that long, so students do not have to invest a lot of time reading them. Still, reading newspapers in any foreign language can be a difficult and daunting task. To make reading newspapers easier, there are some simple ways students can read a paper according to their language level. Let's look at various ways students of different ability can use newspapers to learn a new language.

Reading Plan for Beginners

If you are a student just starting to learn a language, you should try reading a simple text that has many images. Three common examples can be found in:

1. Captions

Captions are the words that explain the picture that go with a newspaper article. They are usually right below an image and are usually very short. Often the text for captions is smaller than normal so they are easy to find by size and location. Captions are usually very short and use simple language to explain the image.

2. Advertisements

Similarly, newspaper advertisements use short, simple language, too. They are often found in large boxes in the corners of some pages in the newspaper. The language is often very easy to read.

3. Comics

Lastly, there are the comics sections. Comics are

short, funny stories that usually appear in four square boxes. Comics use examples of spoken English and are a great way to learn useful phrases people use in daily speech.

As a study plan, beginning students should make a habit of trying to read a combination of ten captions, advertisements and comics for each reading session. Within a short time, you should see big improvements in your ability and soon you will be ready for the next level.

Reading Plan for Intermediate Students

As an intermediate student, you are ready to read real stories in the newspaper, but you should start off with easy articles. There are various ways you can select easier articles. One way is to look for short articles such as snippets on the sides of the pages. Snippets are really short articles that give just basic information about a story. They are often only between 50 to 100 words in length and always have a title right above them. Another way to find easy articles is to look for topics that are easy to follow. Usually stories about entertainment, sports, travel and weather are not too difficult. Stories about politics, business, and science, however, are usually harder to read. Lastly, students can select articles from papers which are generally easier to read. For example, most papers try to write at a certain reading level. Some papers like the New York Time or Wall Street Journal are written at a

university reading level, while other papers such as USA Today are written for a high school level. In Japan for instance, the Daily Yomiuri is written at an easier level of English than the Japan Times. For a study plan, intermediate students should try to read three short snippets (or one longer article) on an easy topic from an easier newspaper once per reading session. Try to do three reading sessions a week.

Reading Plan for Advanced Students

Advanced students should be able to read articles from start to finish on a variety of topics. You do not need a specific study plan, but should read newspapers now as a source of information or a way to read for enjoyment. However, like intermediate students, you should try to select articles that are not too difficult. Also, you should remember that you do not need to understand every word you read and you should generally try to read things that interest you. Still, reading newspapers will be a tool to help maintain your language skills and a way to provide opportunities to learn a new language. Students serious about improving their English should try to read at least three or four articles each week.

Japanese Study Support at SALC

日本語学習サポート

Studying Japanese does not just involve learning from a textbook; there is a wide variety of resources that you can use. Talk to the SALC TAs, use these different resources, and find out how you can improve your language skills.

日本語の勉強は、教科書の勉強だけではありません。いろいろなところに利用できるリソースがあります。TAと相談しながら、日本語のリソースの活用して、日本語が上達する方法を見つけてください。

Books for Self-study

For those of you who are struggling with kanji, we have books that will help you to remember these characters painlessly through pictures and stories. We also have materials that explain Japanese grammar and vocabulary in English, and practice question booklets for students who want to take the JLPT and BJT.

自分で勉強したい人のために こんな本を準備しました

漢字の勉強に困っている人、絵やストーリーで楽しく漢字を覚える本があります。英語で日本語の文法や語彙について説明している本があります。JLPTやBJTを受験する人のために、問題集もそろえました。

Read Manga, Graded Readers and Picturebooks

If you want to study the type of Japanese that is not taught in class, then reading manga or graded readers is a good place to start. As well as being enjoyable, you can also learn about Japanese culture. By reading picturebooks you will acquire information about the traditions and foods of different regions of Japan. We also have texts that explain Japanese customs, proverbs and common sayings in English.

マンガ・多読本・図鑑を読んでみよう

教室の勉強では学べない日本を知るために、マンガや多読本を、読んでみましょう。楽しみながら、日本の文化を知ることができます。図鑑を見ると日本や地方の習慣や食べ物などいろいろな情報がわかります。日本のマナーや習慣について英語で説明している本、ことわざや慣用語彙についての本もあります。



Talk with TAs

TAs are available for Japanese speaking practice. If you want to speak like a Japanese person but are too shy to practice with friends, or if you don't have any chance to speak Japanese, then come and see us in the SALC. You should think about a topic that you would like to talk about before you arrive. Japanese TAs will be in the SALC during 4th and 6th periods.

TAと話そう

TAがスピーキングサポート(会話練習)をしています。日本人とペラペラ話せるようになりたいけど、ちょっとはずかしい、話をするチャンスがないという人は、まずSALCに来てみましょう。話したいトピックを考えてきてください。日本語のTAは4限と6限にいます。

<試験情報>

JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N1 ~ N5

(日本語能力試験)

(旧1級→N1、旧2級→N2/N3、旧3級→N4、旧4級→N5)

申し込みは3月からです。試験を受けたい人は、早めに申し込みましょう。申込受付は生協で行っています。

●試験日：7月3日(日)

●申込期間：3月24日(木)～4月28日(木)

BJT (Business Japanese Proficiency Test)

(ビジネス日本語能力試験)

●試験日：11月20日(日)

●申込み：7月1日(金)～10月14日(金)

(2011年は1回だけです)

ADVISER通信

Welcome to APU! SALC 英語学習アドバイザーの沖本です。SALC (言語自主学习センター) は、BII棟1階にある言語科目の自習室です。SALCでは、
●スピーキングやライティングのサポートを受けることができます。(英語・日本語)
●レベル別多読本・試験対策本・参考書・コミック本・DVDなど、英語と日本語の学習に役立つ学習教材が豊富に取り揃えてあります。

●英語学習について、学習アドバイザーに気軽に相談することができます。一人で勉強していると心がくじけてしまいがちですが、SALCで仲間でもありライバルでもある存在を見つけると、思いのほか頑張れますよ。中島君のアドバイスのように、「絶対に英語を身につけると強い意志を内ポケットに忍び込ませて」SALCに来てください。私達SALCのサポートチームがとことん応援します!

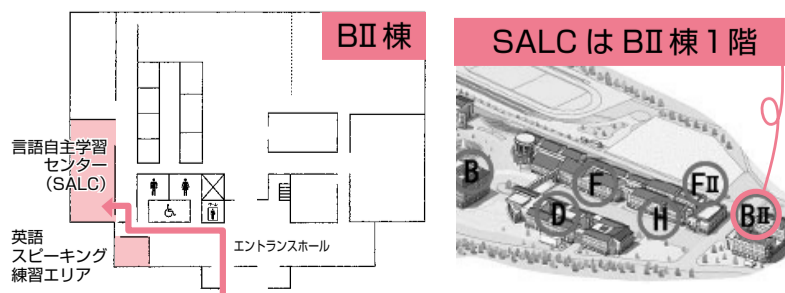
SALC Schedule 英語・日本語の学習サポート(予定)

	Mon 月 / Tue 火 / Thu 木 / Fri 金
2 時限 (10:35 ~ 12:10)	英語学習相談 / TOEFL単語テスト
3 時限 (12:25 ~ 14:00)	英文ライティングサポート / スピーキング練習 / TOEFL単語テスト
4 時限 (14:15 ~ 15:50)	TOEFL単語テスト / 日本語学習サポート
5 時限 (16:05 ~ 17:40) 相談は ~ 17:00	英語学習相談 / 英文ライティングサポート / スピーキング練習 / TOEFL単語テスト
6 時限 (17:55 ~ 19:30)	英文ライティングサポート / スピーキング練習 / TOEFL単語テスト / 日本語学習サポート

※開室時間は、いつでも誰でも、予約なしで、「言語学習のための自習室」として利用できます。

The SALC is a self-study room designed for students who want to independently extend or supplement their study of a language. The room is open during the following hours.

Mon 月	10:35 ~ 19:30 (2~6時限)
Tue 火	10:35 ~ 19:30 (2~6時限)
Wed 水	閉室
Thu 木	10:35 ~ 19:30 (2~6時限)
Fri 金	10:35 ~ 17:40 (2~5時限)



SALC Rules ルール

- 1 部屋に入ったら、かばんをロッカーに入れます。
- 2 入り口の利用者名簿に、ID番号・クラス・名前・ロッカーの番号・入室時間などを書きます。
- 3 CDやDVDを使ったかったら、TAにIDカードを渡してCDを借ります。
- 4 部屋で、物を食べたり飲んだりしてはいけません。
- 5 帰る前に、入り口のノートに退出時間とSALCで何をしたかを書いて、ロッカーからかばんを出して帰ります。

注意:本やCDを部屋の外に持って行くことができません。(英語多読本のLevel 2以上は借りることができます。)

How to Use SALC

1. Put your belongings in a locker.
2. Sign in.
For those studying Japanese, write the requested information, such as your ID number, your Japanese class code, your name, your locker number, and sign-in time, on the SALC user sheet.
3. When you want to listen to the CD accompanying a textbook or watch a DVD in the room, show the TA the textbook you want to use or the DVD case, then hand your ID card to the TA. When you return the CD/DVD, your ID card will be returned.
4. You must not eat or drink in the SALC room.
5. When you sign out, write both your leaving time and what you studied while in the SALC room on the SALC user sheet.

☆ Warning ☆

You are not allowed to take out books/CDs/DVDs from the SALC. The only exception is Graded Readers Level 2 or above.